

挑め、ともに！

小国高校魅力化通信④

地域留学生と3年生による小国高校生活動報告会

2月27日(木)、小国高校生による活動報告会がおぐに開発総合センターを会場に行われました。

県外の高校に通う生徒が高校2年生の1年間で小国高校で過ごす「地域みらい留学365生」の井手吾南くん、大河忠斗くん、染谷柚乃さん、県外出身の生徒が小国高校で3年間を過ごす「白い森留学生」の佐藤秀亜さん、澤田旭くん、塚原朱李さん、堀野優母さん、三浦美桜さん、そして町内出身で小国高校3年生の代表生徒阿久津七香さん、伊藤琥次郎くんが小国高校での学びや思い出を語りました。

令和6年度は小国高校が白い森留学を開始してから3年目にあたり、今回発表した5人の生徒たちは、白い森留学生として最初の卒業生となりました。

〈生徒の発表(抜粋)〉

■井手吾南くん(地域みらい留学365)

1年間で最も印象に残っているのは「全国高等学校小規模校サミット」です。僕はサミット前日のレセプション(歓迎会・前夜祭)のリーダーを務めました。自分たちで企画を一から考え、友達や地元の人に協力してもらいながら作り上げたプログラムを、県外から参加してくれた生徒たちが楽しんでくれて、大きな達成感がありました。

■三浦美桜さん(白い森留学)

私は自然や社会問題に関心がある方ではありませんでしたが、学校の友達や地域の人など、身近な人たちが生活している環境に触れることで、身近に思えるようになりました。小国高校生のみんなは、

小国に戻ってくることを見据えつつ、町外や県外への進学や就職といった自分の将来を決めていました。地域の未来を考えて行動するその姿に、学ぶことが多くありました。

■阿久津七香さん(地元生)

私は小国高校に入学して、小国町に対する見方が変わりました。高校に入るまでは、小国は田舎で何もない町だと考えていました。しかし、県外出身の留学生との関わりや小国高校での活動を通して色々な魅力があることに改めて気づくことができました。



令和6年度緑のふるさと協力隊&地域おこし協力隊活動報告会

2月25日、ショッピングセンターアスモを会場に、令和6年度緑のふるさと協力隊&地域おこし協力隊活動報告会が開催され、町内で活躍する8人の隊員が日々の活動の内容や小国に対する思いなどを発表しました。

今年度末で任期終了となる北風隊員は木工技術を学ぶため長野県の専門校に入学することを、中原隊員は引き続き東部地区に残りゲストハウスを運営することをそれぞれ発表しました。



「3年間お世話になりました！」

地域おこし協力隊

かけはた 欠端
あやの 彩乃



▲念願だった雪の樽口峠を登りました

4月末をもって3年間の任期が終了します。振り返ればあっという間の3年間でした。隊員の変化もあり、いつの間にか女性隊員がいなくなってしまったときは心細かったです。でも、仲間として楽しく接してくれた隊員のおかげで、同じ目標を持ち、今後一緒に頑張っていきたいことを見つけることができました。

集落支援の協力隊ではなかったため、皆さんのお手伝いをする機会は少なく、直接的に地域の力になっているのか不安なときもありました。そんななか「広報読んだよ」などと声をかけてくださるかたもいて、「さらに頑張らないと」という日々の励みになっていました。外部の人を抵抗なく受け入れ、仲間のように接して下さる雰囲気は3年間協力隊を続けることができた理由だと思います。本当にありがとうございました。

「もう1年居ます！」

緑のふるさと協力隊

ささき ゆうま
佐々木 佑真

こんにちは！

緑のふるさと協力隊として4月10日に着任してから約1年が経ちました。本来であれば任期が1年限りのため3月末で終了となるのですが、色々あってもう1年間緑のふるさと協力隊をすることにしました。これからも色々ご迷惑をおかけするかもしれませんが、なにとぞよろしくお願いします。

改めて1年を振り返ると、「長くて短い1年」でした。これまでの人生で圧倒的にこの言葉が似合う濃い1年でした。

今年度がどんな1年になるのかとても楽しみです！



▲白い森ウィンタースポーツ大会のスノーボード競技に出場しました